

第9回昭和上條医療賞受賞について

この度、町プロ協議会が、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団の顕彰事業である第9回昭和上條医療賞を受賞しました。この賞は、地域保健医療の実践及び教育の分野において創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果を挙げた個人又はグループに贈られるものです。

2022年12月19日に授賞式が行われました。川村会長から、これまで実施した取組についての報告がなされ、賞状が授与されました。

公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団の評価

町田市の在宅医療介護連携の推進を目的に「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」（2013～）を立ち上げ、町田市内18の専門職団体に構成する協議会を開催し、在宅療養に関わる課題を共有して複数の専門部会を設置した。連携ツールの開発など、16の取組みを推進し計18回の多職種連携研修会を開催した。また、市民向けの研修会も実施した。



第9回昭和上條医療賞受賞者

町田・安心して暮らせるまちづくり プロジェクト推進協議会 代表 川村 益彦	医療法人社団 幸益会 理事長
	高齢者の在宅療養を支える ～町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト～
木庭 雄至	東大和病院 副院長
	地域救急医療体制の円滑な運営
山田 光彦	国立精神・神経医療研究センター 部長
	救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援 ：人材育成の取り組み